

ウミホタルの光る海 臨海実験所と野外教育施設

理学部附属臨海実験所講師 清本 正人

生命が誕生し、地上では想像もつかないような、いろいろな生き物が数多く生息している海、そんなワンダーランドへの入り口として、千葉県館山市に理学部附属臨海実験所があります。ここに数日滞在しての海三昧の実習が、授業科目としていくつも開講されています。例えば、潮の引いた磯に出て動物や海藻を採集したり、ボートで沖に出てプランクトンを採集したり、夜にウミホタルの青白い発光を観察したり。また実習室では、新鮮な海の生物を使って、生物の体の仕組みについて実験を行います。全国の大学生を対象にし



臨海実験所外観



磯採集



アオウミウシ



ウミホタル

た公開臨海実習では、外国人研究者を講師に招いた国際実習も行われました。ここには発生学の研究室もあり、大学院生などが長期滞在して研究しています。また各方面に、実験材料として海の生物を提供していますが、産卵期を調節する研究の結果、ウニの周年提供が可能になり、全国から問合せがあります。他大学の実習、理科教員の研修、小中高校生各々を対象にした講座などにも幅広く利用され、昨年度の利用者は延べ二千七百人をこえました。

実験所に隣接して、館山にはもうひとつの施設、野外教育施設があり、本学の関係者なら、校外実習以外にも、幅広い用途で宿泊できます。すぐ前には遠浅の砂浜が広がり、手漕ぎのボートも常備され、海水浴には最適で、夏は家族連れで賑わいます。近くには、釣り場も多く、水中観光船やダイビングスポットもあり、楽しみ方はいろいろです。静かな季節に海辺で論文の構想を練ったりするのもいいかもしれません。冬から春にかけての花摘みやイチゴ狩りも人気があり、年間を通して楽しくリフレッシュできます。



館山の海水浴場



野外教育施設外観

志賀高原体育運動場及び館山野外教育施設の利用についてはお茶の水女子大学会計課国有財産担当へ。
電話〇三 五九七八 五二五

訂正 本誌(前六)号の三頁下段、「国立東京女子大学」は、正しくは「東京国立女子大学」です。

編集後記

Tea Times 第七号をお届けします。本学の女性リーダーたちの座談会は二時間にわたり、そのまま起こすと、原稿用紙百枚以上にも及びます。当初は今号に全て収める予定だったのですが、楽しくもりだくさんの内容のため、次号と二回に分けて掲載することとなりました。私も座談会を学長室の隅で聞いていたのですが、出席者の皆さんのフアイトと努力にはあらためて頭の下がる思いでした。決して居眠りをしていただけではありません。

現在本学では、入構者に身分証などの提示をお願いしています。児童生徒の安全確保という趣旨をご理解の上、ご協力いただいています。私、私は、地域、と言うと大げさですが、「ご近所」の皆さんにお茶大のことを気にかけていただけられるようになることが、安全という観点からも大切だと考えています。本誌はお茶大周辺のご家庭にも配布させていただいていますが、お茶大で何が起きているのか、社会のためにどんなことをしているのかを知っていただき、「お茶大はわが町の大学だ」と皆様に感じていただけるようになればと願っています。さらに、ご近所のお年寄りから子供たちまで、さまざまな人を対象とした催しや講座などを開いて、お茶大の存在を身近なものに感じていただく努力もしていきます。

(編集長 宮尾)

本誌に関するご意見・ご要望、記事の掲載などは、企画広報室にお寄せください。

お茶の水女子大学広報誌 Tea Times
平成15年10月6日発行
編集発行/お茶の水女子大学広報委員会

編集/宮尾 正樹(編集長 文教育学部)
福島 昇(編集事務 企画広報室)

問い合わせ先/お茶の水女子大学企画広報室 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
TEL 03-5978-5105 FAX 03-5978-5890
E-mail info@cc.ochn.ac.jp URL http://www.ochn.ac.jp/

印刷 昭和堂